

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		高砂市立高砂児童学園		公表日		令和 8 年 2 月 19 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3	1	・学校側から質問されたことに対し教材を準備することは可能だが、訪問後の課題になってしまうので、事前に打ち合わせができていれば改善できたように感じる。	今後も利用者や訪問先の意向などを聞いていながら、教員教材などを準備していきます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・適切ではあるが、STやOT、PTなどの専門職も訪問支援員として配置できると、更に良い。 ・職員の配置人数が増えると、更にニーズに対応できる。	利用希望者に対しては、丁寧に対応していき、受け入れができるよう支援体制を整えていくことができるようにします。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・担当職員で話し合う場を設けている。 ・振り返りは必ず行い、広く職員が参画している。	今後も職員間で話し合う場を設けながら支援を行っていきます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・保護者の意向を把握し、内容に応じて改善策を考えている。 ・定期的に評価を行っている。	保護者からの評価を受け取り、職員間で共有し、これからの支援について考えていきます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・職員間で意見を出し合い、それについて検討している。 ・問題点について話し合う機会を設けており、意見を取り入れている。	引き続き職員間で話し合いを行い、意見交換をしながらより良い訪問支援につなげるようにしていきます。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	・業務改善につながるようになっている。	今後も関係機関などと評価に関する見直しを行いながら、業務改善につなげていきます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	・外部研修に参加するなど、資質向上を図っている。 ・保育所等訪問についての研修が少ない。 ・研修に参加し、情報を得るようになっている。	引き続き外部研修には積極的に参加し、よりよい支援につなげていきます。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0	・保護者とアセスメントを行い、支援計画を作成している。訪問先ともきちんと課題を話し合い、情報共有する中で計画を立てている。	引き続きアセスメントの時間を十分に取っながら、計画書の作成を行っていきます。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	児童発達支援管理責任者だけでなく、訪問支援員、相談支援専門員も加わり、検討を行い、共通理解をするようにしている。	引き続き関係職員で話し合いを十分にしながら支援を考えていきます。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	1	訪問先としっかり話し合いを行い本意にとって大切なことを確認し、作成を行っている。	今後も訪問先施設との話し合いを重ね、計画書を作成していきます。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・計画の内容に沿って支援を行うようになっている。	今後も職員間で計画書を共有しながら支援を行えるようにしていきます。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	・保護者との面談を通して子どもの実態を把握しながら支援につなげており、フォーマルなアセスメントの実施ができていない。	・今後は保護者の面談などを行う際に、インフォーマルなアセスメントだけでなく、フォーマルなアセスメントも行えるようにしていきます。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・ガイドラインを踏まえて、具体的な支援内容になっている。	・今後は保護者との面談を通して子どもの実態を知った上で、具体的な支援内容を設定していきます。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・支援計画に沿って職員間で共通理解し、支援をするようにしている。	・今後は保護者との面談後は職員で話し合いをし、支援の方法について検討していきます。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・事前に訪問時の活動に対して訪問先に確認を行ったうえで訪問するようにする。	・今後は訪問時の活動内容を確認し、支援について話し合っていきます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・支援終了後には、職員間で振り返りを行い、気付いたことは共有している。	・引き続き支援終了後は、話し合いをする場を設け、今後の支援につなげるようにしていきます。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0	・訪問先の方針を尊重して支援を行っている。	・引き続き訪問先職員の方と話し合った事例も取り入れながら支援につなげていきます。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0	・毎回、支援に関しての記録を行い、改善につなげている。	・今後は訪問・面談・会議後は必ず書面で残り、支援について検討できるようにしていきます。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	・今後は3か月に1回モニタリングを行い、支援について検討し、適切な支援を目指していきます。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	・関係機関との会議に参加し、利用者についての共通理解を行うことができている。	・今後も担当者会議などには参加し、関係機関と連携していきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・関係機関との連携を密にして、支援体制を整えるようにしている。	・引き続きこどもに関わっている関係機関と連携していきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・移行については、保護者を含め、移行先とも情報共有し、相互理解に努め体制などに配慮している。	・今後も支援体制が変わる際には情報共有を行い、支援がスムーズに行えるようにしていきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	1	・積極的に外部研修にも参加している。 ・保育所等訪問支援に特化した研修に参加できる機会が少ないように感じる。	・引き続き研修などにも積極的に参加し、資質向上につなげていきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	3	1	・自立支援協議会や子ども部会など、会議に参加している。	・引き続き児童学園職員が自立支援協議会に参加し、情報共有を行っています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・保護者には、訪問後の報告を必ず行い、課題についても話し合うようにしている。	・引き続き保護者と面談する機会を定期的にもち、こどもの状態を把握しながら支援を行っています。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	・児童学園で、ペアレントトレーニングの実施をしている。	・今後も児童学園としてペアレントトレーニングを実施していきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・契約時に分かりやすく丁寧に説明を行っている。	・引き続き契約時に分かりやすく説明を行います。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0	・訪問先には、詳しく支援についての説明を行い、理解していただくうえで支援を行っている。 ・毎年年度初めに説明を文章で行うことが効果的だと考える。	・今後も訪問先施設に対して、適切に説明などを行います。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・定期的に面談などを通して保護者やこどもの思いを聞いたうえで作成するようにしている。	・今後も子供や保護者の意向を確認しながら計画作成と支援を行っています。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0	・アセスメントに沿った計画書を作成するとともに、個別支援計画作成会議を行い同意を得ている。	・引き続き支援計画作成後は、保護者と面談し、計画について丁寧に説明を行い同意を得ます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・定期的に面談を行っているが、困り感が出た時には、迅速早急に対応し助言もしている。	・引き続きご家族の方からの相談があった際には、丁寧に対応していき、保護者の方も安心できるようにしていきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4	・保育所等訪問支援を利用されている保護者向けの保護者会は開催していない。	・今後、兄弟支援など、必要に応じて支援体制を整えていきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・迅速に対応している。	・引き続き相談しやすい環境を整え、迅速かつ適切に対応していきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	4	・保育所等訪問支援を利用されている方への便りは作成していないが、ホームページなどを通して児童学園については発信している。 ・啓発活動は必要と考える。	・今後もHPなどを通じて配信を続けていきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・個人情報の取り扱いには、十分留意している。	・今後も個人情報には十分気を付けて支援を行います。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・気持ちに寄り添って、ゆっくり話を聞くようにしている。	・今後もこどもや保護者に寄り添った支援が行えるようにしていきます。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0	・訪問先からの困り感などの相談には、迅速に対応し、助言や支援を行っている。	・引き続き相談事に対して適切に助言などを行います。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0	・カンファレンスは必ず行い、必要に応じてその都度会議も行っている。	・引き続き訪問後にカンファレンスを行い、支援の振り返りと今後についての検討を行います。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0	・支援の実施後は、必ず保護者に報告を行い、内容を共有している。	・今後も支援実施後には、必ず保護者と面談を行い、わかりやすく報告を行います。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・個人情報の取り扱いには、十分留意している。	・今後も個人情報には十分気を付けて支援を行います。

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	1	・支援実施後のカンファレンス時に助言を行うなど、相談事がある時には、丁寧に応じている。	・引き続き訪問先職員との面談などを実施しながら助言を行っています。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・図でマニュアルを作成し、毎月訓練を実施している。	・引き続き定期的にマニュアルの見直し及び訓練などを行っています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・安全面を考慮し、訓練や研修も定期的に行い支援をしている。	・安全計画を元に引き続き定期的な訓練などを行いながら、十分な安全管理の元支援を行っています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・事業所内での共有を行ない、定期的に会議も行いながら検討している。	・図で様式を作成し、ヒヤリハット事業の際には、職員間で共有しながら分析・検討を行っています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・虐待防止委員会を立ち上げ、定期的に会議や研修などを行いながら支援を行っている。	・今後も虐待に関する研修や会議に積極的に参加し、適切な対応を行っています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	・身体拘束については、契約時に説明を行っている。	・身体拘束については、今後も職員間で研修・会議を行っていき、保護者にもその都度説明を行っています。